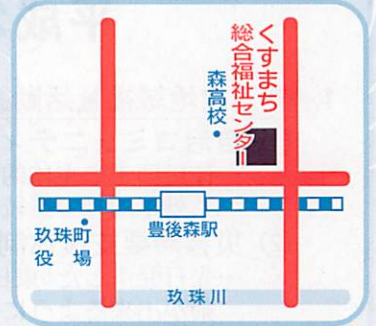


ゆるへん



(撮影：永井時雄氏)

発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

シリーズ東日本大震災①

大震災発生



みなさんもご存じのように、去る3月11日に三陸沖を震源とした「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。

これはM9という大規模なものであり、甚大な被害をもたらしました。その被害は津波や火災、液状化現象から原子力発電所事故、大規模停電などに拡大していきました。

この記事を作成している時点で死者1万4千人、行方不明者1万3千人にのぼりますが、まだ正確な数は把握されていません。

このような状況の中、日本全国で支援活動が活発に行なわれています。被災者の受け入れから義援金の募集、省エネの取組みなど多種多様であり、各々が出来ることを出来る範囲で取り組んでいます。

玖珠町においても救援物資の収集や募金活動など取り組んでまいりました。

しかし、この災害の復興にはまだ多くの時間がかかり、今後も継続した支援に取り組んでいかなくてはなりません。

社会福祉協議会では、今後も福祉の視点からこの未曾有の大災害について情報を発信していきたいと考えています。



【写真出典】
阪神淡路大震災被災状況より
(財団法人消防科学総合センター)

社会福祉法人玖珠町社会福祉協議会
平成23年度事業計画(重点事項抜粋)

1. 第三次地域福祉活動計画の推進

- ① 自治コミュニティとの協働体制を確立します。
…住民同士の主体的な支え合い・助けあい活動こそが地域の問題解決や活性化を進めていくうえで最も効果的且つ持続的な手法であるため、福祉基盤の整備を進めていきます。
- ② 災害時要支援体制を整備します。
…先日発生した「東日本大震災」など災害発生時に、在宅で生活を行なう方々が迅速且つ適切に避難活動が出来るように、行政や各種団体と協力していきます。

2. 在宅福祉事業の拡充

- ① 日常生活自立支援事業の推進のため、利用者の掘り起こしと関係者への広報を積極的に行う。
…認知症や障害などのために判断能力が不十分な方に対して、安心して在宅生活が遅れるよう福祉サービスの利用や金銭管理などの支援をしていきます。
- ② 総合相談窓口として、誰もが気軽に利用できる職員体制を整備します。
…誰もが、何時、どんな内容でも気軽に相談できる態勢の整備に努めます。
- ③ いきいきサロンの拡充を図るため、リーダー育成を行なうとともに、地域へ設置の呼びかけを行います。
…ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者等と地域住民が公民館等に集い、生きがいがづくり・仲間づくりの輪を広げる活動がいきいきサロンです。町内では約30ヵ所設置されていますが、今後もリーダーの育成などを通じ数を増やしていきます。

3. 介護保険事業・障害者自立支援事業のサービスの質の向上

- ✓ 介護サービス提供事業者として、慣習的な取組みを行うのではなく、選ばれるサービスの質の向上と定期的見直しを行います。
…社協ではデイサービスやホームヘルパーの派遣など介護サービスを提供していますが、数ある事業所の一つとして、利用者の皆様に選んでいただけるようにサービスの質を向上させていきます。

4. 介護予防地域支援普及啓発事業の拡充

- ✓ 身体的な介護状態の回避のみでなく、孤立など精神的・社会的なケアにも重点を置いた支援体制をとります。
…介護予防は早い段階から高齢者ができる限り自立した生活を送れるように支援し、要介護状態やその重度化の予防と改善を図り、その取組みを通じて現在問題となっている社会的孤立などの解消も図っていきます。

5. 新規法人会員加入促進運動

- ✓ 社協事業に対する理解と積極的な参加をいただくため、役職員一丸となり勧誘キャンペーンを実施します。

6. 理事会・評議員会の意思決定の強化

- ✓ 事務局主導の法人運営ではなく、執行・議決機関としての自覚を持ち、積極的且つ主体的な運営をしていただくための支援を行います。

7. 情報開示・苦情解決体制の確立

- ✓ 社会福祉基礎構造改革に伴うサービス提供体制の変化に対応し、住民が選択する為の情報提供と、サービスの質を担保するため苦情解決体制を整備します。
…改革時に福祉サービスの提供体制が「措置」から「契約」へと変わりました。それに伴い利用者が「選択」する際の情報を十分に提供すると共に、苦情発生時に利用者保護のため社会性や客観性を確保し適切な解決が出来る体制を整備していきます。

8. 人材の育成

- ✓ 人対人の仕事である社協として人材の育成は目下の急務であり、これは各部門の若手職員に止まらず、全職員が社会人として自覚を持ち行動するための取組みを積極的に行います。
…「福祉は人なり」と言いますが、「職務を遂行するための福祉の専門的知識や技術の向上と共に、社会教育・人間教育を通じ「人間力」の向上を図っていきます。」

平成20年度 玖珠町社会福祉協議会決算状況

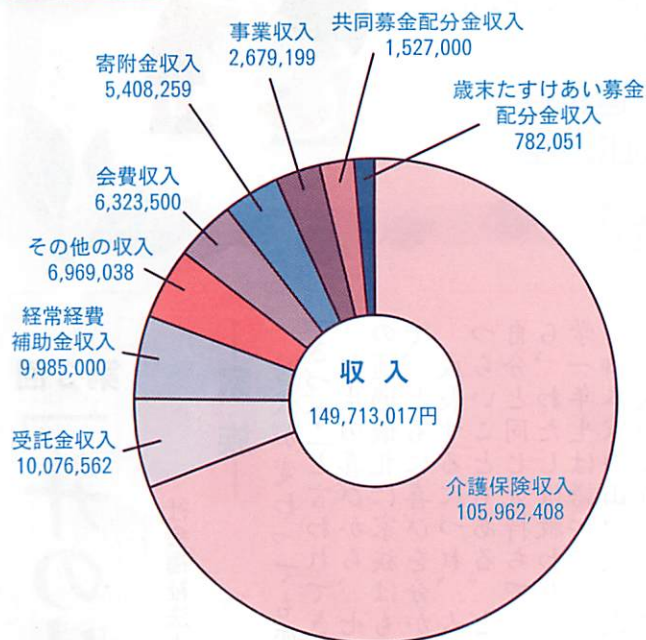
平成21年5月26日 理事会認定・評議員会承認

一般会計資金収支決算書

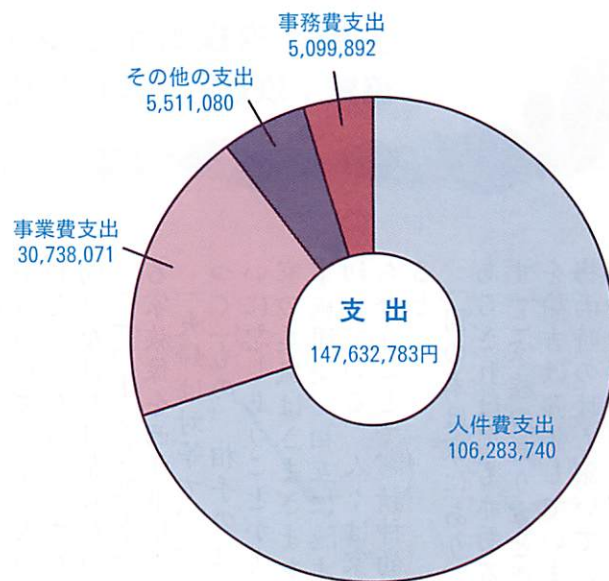
(自)平成20年4月1日 (至)平成21年3月31日 (単位:円)

		勘定科目	決算額
経常活動による収支	収 入	会費収入 (皆様からの会費収入です)	6,323,500
		寄附金収入 (皆様からの寄付金・香典返しの収入です)	5,408,259
		経常経費補助金収入 (町からの補助事業補助金収入です)	9,985,000
		受託金収入 (県・町からの委託事業委託金収入です)	10,076,562
		事業収入 (実施事業からの収入です)	2,679,199
		チャリティーバザー収入 (上記収入の内、皆様から頂いた物品のバザーでの売上げ金額です)	555,881
		共同募金配分金収入 (赤い羽根募金・歳末たすけあい募金実績から配分された収入です)	2,309,051
		共同募金配分金収入 (赤い羽募金の内訳です)	1,527,000
		歳末たすけあい募金配分金収入 (歳末たすけあい募金の内訳です)	782,051
		介護保険収入 (介護保険事業での収入です)	105,962,408
		その他の収入 (上記以外の収入です)	6,969,038
		合計 ①	149,713,017
		支 出	人件費支出 (社協役職員の人件費です)
事務費支出 (社協事務局・事業事務費の支出です)	5,099,892		
事業費支出 (委託事業・介護保険事業などの事業費支出です)	30,738,071		
その他の支出 (上記以外の支出です)	5,511,080		
合計 ②	147,632,783		
当期資金収支差額合計		③=①-② (平成20年度の収入から支出を引いた差額です)	2,080,234
前期末支払資金残高		④	59,054,372
当期末支払資金残高		⑤=③+④	61,134,606

収入金額



支出金額



◇ 財務帳票を閲覧できます ◇

玖珠町社会福祉協議会では、法人の財務帳票を閲覧することが出来ます。
ご希望の方は、事務局へお申し出ください。

—第12回童話の里クリーンアップ運動—
参加者大募集!!

❖日時❖

平成21年 8月2日 (日) 午前6時より

❖集合場所❖

*小雨決行

森地区…三島グランド

南部地区…協心橋下

玖珠地区…玖珠自治会館

北山田地区…北山田自治会館・北山田駅・大野原公民館

八幡地区…八幡小中グランド・各地区公民館

❖用意するもの❖

ゴミ袋(可燃物・不燃物・発泡スチロール用袋)・軍手・ゴミはさみ
 草刈がま

❖詳しい問い合わせ❖

玖珠町ボランティアセンター(玖珠町社会福祉協議会内)

TEL 72-5513 / FAX 72-2816

主催：玖珠町ボランティア連絡会
協賛：玖珠町・玖珠町社会福祉協議会

個人・団体・職場・
 学校…多くの皆さん
 のご参加お待ちしております。



第3回

「井の外の蛙」

—家族—

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会
 会長 秋吉信隆

時代が変わっても変わらないのが家族の「きづな」と言われてきました。誕生の喜びから、七五三・入学とそれぞれの通過儀礼に家族はもちろん親族にいたるまで、ともに喜びを分かち合ってきました。成長するにつれ、人生にはうれしいこともつらいこともある。どんなに苦しいときでも自分と同じ気持ちでいてくれる家族があるから、わたしは救われたと新聞の読者の声で中学一年生は語っています。

脚本家の山田太一氏は「選べない家族」と題して次のように述べている。

「人間性に背を向けて、効率や合理性が優先される経済中心の社会が続いてきた。そのゆがみの中で多くの人があえいでいるからこそ、わたしたちの原点である『家族』の価値に目を向けなければならぬ」と。

「ニッポンを変えた男」福澤諭吉も理想とする家族像を西洋事情の中で語っています。

「夫婦は対等で、愛・敬・恕によって結びつく」もの。相手の立場に立って考え、お互いに恕しあうことが夫婦の基本であると述べ、家の美風はさまぎまあるが「最も大切なものは家族団欒、相互に隠すことなき一事」と言い切っている。人々は家族によって苦楽を分かち合うことで、精神的安定を得ることができると。

「国の本は家にあり、家族にあらざれば国も亦あるべからず」と家族のあり方とその役割を論吉は強調していますが、梅雨時の蛙も領いているのではないのでしょうか。



6月・7月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30 ■老人福祉センター 休館日	31 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	6/1 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	2 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
5 ■給食サービス	6 ■老人福祉センター 休館日	7 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	10 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	11 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
12	13 ■老人福祉センター 休館日	14 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	15 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約) (ともに老人福祉センター)	16 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	17 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	18 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
19	20 ■老人福祉センター 休館日	21 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	24 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	25 ■おもちゃ図書館 (福祉センター) ■給食サービス
26	27 ■老人福祉センター 休館日	28 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	30 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	7/1 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	2 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
3	4 ■老人福祉センター 休館日	5 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
10	11 ■老人福祉センター 休館日	12 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	15 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター) ■給食サービス	16 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
17	18(海の日)	19 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	20 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	21 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	23 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
24	25 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	29 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	30 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
31	8/1 ■老人福祉センター 休館日	2 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	5 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター) ■給食サービス	6 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)

たご光から私が出がて多りて立そをひいなどをを変頃人私今花
 し支大をからいたた出いのく飛いてそののと社まあ巧化季生はもあ
 ます援き与は思たちるあるんまてののばつ協す多あ巧化季生はもあ
 す方大をからいたた出いのく飛いてそののばつ協す多あ巧化季生はもあ
 (A)る方大をからいたた出いのく飛いてそののばつ協す多あ巧化季生はもあ
 願す方大をからいたた出いのく飛いてそののばつ協す多あ巧化季生はもあ
 い方大をからいたた出いのく飛いてそののばつ協す多あ巧化季生はもあ

編集後記



みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら玖珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。

One for all! All for one!!
 (ひとりはおみんなのために みんなは復興のために)

東日本大震災義援街頭募金

編集発行所／玖珠町社会福祉協議会



玖珠町社協では地震発生より1週間後の3月18日に町内6カ所の商業施設にて法人の役員総出で「東日本大震災」の復興義援金として街頭募金を実施しました。当日は夕暮れ時、主婦の方を中心に多くの人が、この震災で被害を受けた地域の方々の一刻も早い復興を願って、募金していただきました。中には一度家に帰って持って来られる方もいらっしゃいました。

また急なお願いにも拘わらず、活動場所を提供して下さった施設の方も、助けになればと寄付をして下さいました。この街頭募金で集まった義援金は、寄付下さった皆様の篤い気持ちと共に3月末に県社協を通じて被災地へ全て届けさせていただきました。

今後も社協では被災地復興のために様々な取り組みを進めてまいりますので、皆様の一層のご協力よりしくお願いいたします。

募金実績

343,527円

平成23年5月号(隔月1回15日発行) No.78

新人職員紹介



主事補 後藤亮太(23)

四月から、玖珠町社会福祉協議会で働かせていただいています、後藤亮太と申します。

私は山田早水出身で、高校生までを玖珠町で過ごしました。そして、将来は玖珠町のために何か役に立てるような仕事がしたいと思い、高校と大学では福祉の勉強をしてきました。今、その夢が叶い、社会福祉協議会で働けることを本当につれしく思っています。

それと同時に、玖珠町で暮らす皆様の生活に関わらせていただく仕事に対しての責任の重さを実感しています。その責任を果すため、少しずつ仕事を覚えながら、経験を積み、知識や技術を身につけ、成長していきたいと思っております。

『誰もが安心して暮らせる玖珠町』を、皆様と共につくり上げていくためにお役に立てるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひ致します。